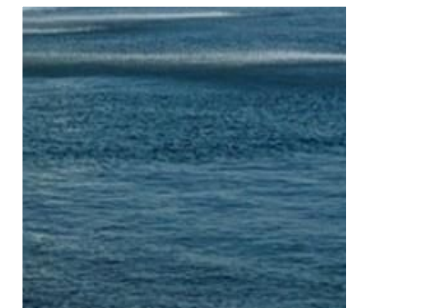


Tobacity

市長定例記者会見

令和8年1月23日(金)



Contents

01

地域振興券「おこめも買える商品券 やまとたちばな」

02

中小企業支援事業補助金

03

地域資源を活用した新商品お披露目会の開催

04

神島町と県立鳥羽高等学校と兵庫県立姫路商業高等学校地域創生部との交流

05

第12回アクサユネスコ協会 減災プログラム
減災教育フォーラムに小竹鳥羽市長が登壇

06

加茂小中避難所運営訓練

07

避難所開設運営に関する協定書の締結
～長岡地区ノ町内会・自治会との協定締結～

08

地域への愛着を基盤とした
学校・地域安全モデル事業 防災リレー講座

09

令和7年度 第2回「鳥羽が好きふるさと給食」

10

全国海女サミット2026の開催

Contents

11

第2回 伊勢志摩にある海洋・水産機関による
研究成果発表会の開催

12

鳥羽市宮定期船の減船によるダイヤ改正

13

その他

01 地域振興券「おこめも買える商品券 やまとたちばな」

1. 概要

- エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援するため、市民全員を対象に市内事業所で利用できる地域振興券「おこめも買える商品券 やまとたちばな」を発送します。
- 商品券額面 15,000円(1,000円×15枚)

2. 発送時期

- 令和8年4月中旬

3. 使用期間

- 令和8年4月22日(水)～7月31日(金)

4. その他

- 専用券(鳥羽市に本社所在地がある取扱店で使用可能) 8,000円(1,000円×8枚)
- 共通券(鳥羽市にある全ての取扱店で使用可能) 7,000円(1,000円×7枚)





A large white rectangular area with a light brown border, containing six horizontal dotted lines for writing.



02 中小企業支援事業補助金

1. 概要

○エネルギー・食料品価格等の物価高騰に対応するため、国や三重県の補助制度を活用して生産性向上や働き方改革等に取り組む中小企業に対して市独自の支援を行い、地域の持続性と市民の暮らしを支えます。国及び三重県の交付確定額を元に市からの支援額を決定します。

2. 実施期間

○申請受付中～令和9年3月31日(水)

3. 場所

- ①小規模事業者持続化補助金(国)
補助率2/3の場合・・・交付確定額の1/4
補助率3/4の場合(赤字事業者)・・・交付確定額の1/6
- ②エネルギー価格等高騰対応生産性向上・業務転換支援補助金(県)
補助率1/2・・・交付確定額の1/2

4. その他

○市と商工会議所が協力し、販路開拓、経営計画作成、生産性向上等を伴走支援や資金面で後押しし、賃金の引き上げにつなげていきます。

中小企業支援事業 (物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業)

【拡充】中小企業支援事業補助金 予算額 26,000千円 (補正予算概算P5上段)

1. 制度概要

物価高騰等に対応するため、国や三重県の補助制度を活用して生産性向上や働き方改革等に取り組む中小企業に対して市独自の支援を行い、地域の持続性と市民の暮らしを支えます。

国) 小規模事業者持続化補助金 小規模事業者が、働き方改革や賃金引上げ等に対応するため、商工会議所等と一体となって経営計画を作成し、それらに基づいて行う販路開拓や賃金引上げ等に係る経費の一部を補助するもの。	県) エネルギー価格等高騰対応生産性向上・業務転換支援補助金 エネルギー価格等高騰の影響を受けている中小企業等が、生産性向上や業務転換の取組を実施することで、従業員の賃金引き上げ等につなげようとするものへ支援するもの。		
国) 持続化補助金補助率 ① 2/3 ② 3/4	鳥羽市補助率 ①の場合 交付確定額の1/4 ②の場合 交付確定額の1/6	県) 生産性向上・業務転換支援補助金補助率 1/2	鳥羽市補助率 交付確定額の1/2
国) 持続化補助金補助上限 50万円～250万円	鳥羽市補助額 ～625,000円	県) 生産性向上・業務転換支援補助金補助上限 50万円～200万円	鳥羽市補助額 ～1,000,000円

(※国や三重県の補助制度については、申請時における内容を記載しています。今後、制度改正等により内容が変更される場合があります。)

商工会議所
- 事業所に周知
- 伴走支援、指導

鳥羽市
- 挑戦することを後押し
- 金銭面で取組みやすく

POINT

- 働き方改革や生産性向上等に関する努力を行う中小企業の負担軽減となる
- 根本的な改革につながり、持続的な地域経済の発展が期待できる

1

中小企業支援事業 (物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業)

【拡充】 中小企業支援事業補助金 予算額 26,000千円 (補正予算概要P 5 上段)

1. 制度概要

物価高騰等に対応するため、国や三重県の補助制度を活用して生産性向上や働き方改革等に取り組む中小企業に対して市独自の支援を行い、地域の持続性と市民の暮らしを支えます。

国) 小規模事業者持続化補助金

小規模事業者が、働き方改革や賃金引上げ等に対応するため、商工会議所等と一体となって経営計画を作成し、それらに基づいて行う販路開拓や賃金引上げ等に係る経費の一部を補助するもの。

・国) 持続化補助金補助率

- ① 2/3
- ② 3/4

・鳥羽市補助率

- ①の場合 交付確定額の1/4
- ②の場合 交付確定額の1/6

・国) 持続化補助金補助上限 50万円～250万円

・鳥羽市補助額 ～625,000円

県) エネルギー価格等高騰対応生産性向上・業態転換支援補助金

エネルギー価格等高騰の影響を受けている中小企業等が、生産性向上や業態転換の取組を実施することで、従業員の賃金引き上げ等につなげようとする事へ支援するもの。

・県) 生産性向上・業態転換支援補助金補助率 1/2

・鳥羽市補助率 交付確定額の1/2

・県) 生産性向上・業態転換支援補助金補助上限 50万円～200万円

・鳥羽市補助額 ～1,000,000円

(※国や三重県の補助制度については、作成時点における内容を記載しています。今後、制度改正等により内容が変更される場合があります。)

商工会議所

- ・事業所に周知
- ・伴走支援、指導

・販路開拓



・経営計画作成

・働き方改革



・業態転換

・生産性向上



・賃金引上げ

鳥羽市

- ・挑戦することを後押し
- ・金銭面で取組みやすく

POINT

- ・働き方改革や生産性向上等に関する努力を行う中小企業の負担軽減となる
- ・根本的な改革につながり、持続的な地域経済の発展が期待できる

03 地域資源を活用した新商品お披露目会の開催

1. 概要

○地域資源活用商品づくり支援事業補助金を活用し、新商品開発を進める事業者が、9月に中小機構所属の鷲見アドバイザーの助言を受けながら試行錯誤を重ね、このたび完成した新商品を披露する機会を設けます。新商品を開発するための助言を受ける機会および披露の場を設けることで、事業者の新たな挑戦へのモチベーション向上を図るとともに、新商品開発に着手する事業者が一人でも増えることにつなげます。また、これまで埋もれていた商品がヒット商品へと生まれ変わる可能性を秘めた機会でもあります。当日は、下記の商品を披露する見込みです。

2. 日時

○令和8年2月19日(木)13:30~14:30

3. 場所

○鳥羽市役所2階 市長室

4. 新商品開発事業者

○当日は、以下の商品を披露する見込みです。

- ・三代目久兵衛「超濃厚 塩豆腐」
- ・ジュビリーティーアンドベイクス「あらめとスパイスのチーズクッキー」
- ・株式会社GOWILD「牡蠣イカダの廃材を再利用した記念木札」





A large white rectangular area with a light brown border, containing six horizontal dotted lines for writing.



04

神島町と県立鳥羽高等学校と 兵庫県立姫路商業高等学校地域創生部との交流

1. 概要

○1月23日(金)、神島町において神島小中学校運営協議会主催の防災・減災講座ワークショップ「神島オリジナル避難所運営ゲーム」が行われ、特別ゲストとして兵庫県立姫路商業高等学校の生徒が参加し、HUG訓練(避難所運営ゲーム)や同校の活動報告、開発した災害用備蓄食品ふわ姫パンの寄贈などが行われます。24日(土)には、県立鳥羽高等学校を訪問し、未利用魚「アイゴ」を通じた高校生同士の交流会を実施する予定です。

2. 日時

- ①防災・減災講座 1月23日(金)18:45～
- ②鳥羽高等学校での交流 1月24日(土)13:30～

3. 場所

- ①神島開発総合センター ②県立鳥羽高等学校

4. 経緯

○SEEDS Asiaの支援により、同商業高等学校生徒が鳥羽市への訪問が実現する運びとなったことから、ふわ姫パン寄贈及び同運営協議会主催のワークショップ参加による神島町民との交流を実施します。また、同商業高校は未利用魚「アイゴ」を使用した災害用備蓄食品「藍姫チヂミ」も作っており、本市の県立鳥羽高等学校も「アイゴ」を使用した商品開発を行っていること、高校生同士の「アイゴ」を通じた交流の機会を設けました。



兵庫県立姫路商業高等学校×宮城県農業高等学校とのコラボ!!

ふわ姫パン

試食
できます



700円 (税込)



7年の長期保存が可能な災害食のパンの缶詰です。二つの大震災(阪神・淡路大震災と東日本大震災)の被災地、兵庫県の特産品である藤橋家の豊かなコク・深い味わいが特徴の「卵」と、宮城県産の糖度が高くとても良い酸味があり、果汁も豊富な「苺」を使用しています。

災害食に必要な5つのコンセプト

- どこでも** (容器が災害に強く、衛生状態が維持できる)
- 誰でも** (歯がない乳幼児・高齢者の方にも)
- 手軽に** (箸・スプーンが必要なく、手で簡単に)
- そのまま** (水・湯での調理が必要なく、時間短縮できる)
- 美味しく** (兵庫県・宮城県の特産物、栄養価の高い食材を使用)



兵庫県立姫路商業高等学校 地域創生部



宮城県農業高等学校 農業経営者クラブ

兵庫県立姫路商業高等学校 地域創生部
TEL:079-298-0437 FAX:079-298-0439
E-mail:Yoshikazu_Kitagawa@hyogo-c.ed.jp
(地域創生部顧問 北川)

本校のHPは
こちら!!



兵庫県立姫路商業高等学校

藍姫チヂミ 700円 (税込)

~健康は食の積み重ね~

試食
できます



兵庫県立姫路商業高等学校 地域創生部

災害用備蓄食品に取り入れた3つのコンセプト

- ①いつでも (災害時だけではなく、平常時でも食べられるフェーズフリーな商品)
- ②どこでも (スマート自動販売機を導入)
- ③誰でも (米粉を使用したノングルテンの商品)

近年、急激に増加している気象災害は二酸化炭素の増加による地球温暖化が原因であり、その二酸化炭素を吸収する海の藻場が魚に食べられる「磯焼け」が課題となっています。そこで私たちは、食材には藻場を食べてしまう未利用魚である藍子を駆除・活用し、オーガニック野菜米粉を使用しています。また、賞味期限が5年の災害用備蓄食品を開発し、SDGsの目標に基づいて活動をしています。

兵庫県立姫路商業高等学校 地域創生部
TEL:079-298-0437 FAX:079-298-0439
E-mail:Yoshikazu_Kitagawa@hyogo-c.ed.jp
(地域創生部顧問 北川)

本校のHPは
こちら!!



第12回アクサユネスコ協会 減災プログラム 減災教育フォーラムに小竹鳥羽市長が登壇

1. 概要

○アクサ生命保険株式会社と日本ユネスコ協会連盟は、共同で「アクサユネスコ協会減災教育プログラム」を実施しており、持続可能な社会を創るための実践的な防災・減災について多角的に考える減災フォーラムを開催しています。第12回となる今回のフォーラムに、小竹鳥羽市長が参加し、市の防災・減災教育の取り組みについての実践報告及び奈良教育大学の及川先生とのトークセッションを行います。

2. 日時

○令和8年2月7日(土)9:00～13:35(市長12:30～登壇予定)

3. 場所

○TKPガーデンシティ浜松町(東京都港区)

4. その他

○「未来の災害に備える地域ぐるみのN助型防災・減災教育の取組(仮)」

- ・実践報告
- ・及川幸彦氏(奈良教育大学学長補佐、ESD・SDGsセンター長・アクサユネスコ協会 減災教育プログラムコーディネーター)とのトークセッション¹³

参加無料

アクサ ユネスコ協会
減災教育プログラム
減災教育フォーラム

2月7日(土) 9:00-13:35
(8:45受付開始)

対面またはオンライン (いずれも事前登録必須)

会場: TKPガーデンシティ浜松町 (ベイサイドホテル アジュール竹芝) 14F 天平
(浜松町駅 徒歩7分) または オンライン参加 ※視聴リンクは事前に送付

対象: 防災・減災に関心のある教職員、教育関係者、企業・団体や一般の方々など

定員: 会場参加 100名 (会場参加は定員になり次第締め切ります) ・オンライン参加 定員なし

減災教育プログラム

減災教育フォーラム

2月7日(土) 9:00-13:35
(8:45受付開始)



対面またはオンライン (いずれも事前登録必須)

会場: TKPガーデンシティ浜松町 (ベイサイドホテル アジュール竹芝) 14F 天平
(浜松町駅 徒歩7分) または オンライン参加 ※視聴リンクは事前に送付

対象: 防災・減災に関心のある教職員、教育関係者、企業・団体や一般の方々など
定員: 会場参加 100名 (会場参加は定員になり次第締め切ります) ・オンライン参加 定員なし

減災とは?

自然災害においては被害を完全に防ぐことが困難であることを前提に、命を守り被害をできるだけ最小限に抑えることを目指すもの

学校、地域、企業がネットワークでつながり、持続可能な社会を創る実践的な減災教育を様々な視点から考えます

申込フォームはこちら

申込締切: 2026年2月4日 (水)
<https://forms.office.com/r/UgSLbdCZf8>



1 事例発表『全国の減災の学びを自分たちの学校や地域にいかす』

※内容は変更となる場合があります※

過去のプログラム助成校から特に先進的な実践事例を紹介します。

長田真希子氏 (北海道豊浦町立豊浦小学校)、坂井球雄氏 (新潟県新潟市立内野中学校)、江島智和氏 (熊本県立熊本農業高等学校)

2 パネルディスカッション『減災教育を地域に広げ、未来につなげる』

学校、行政、NPO、ユースなど、様々な立場の参加者が減災教育実践のためのディスカッションを行います。

モデレーター: 上田和孝氏 (新潟大学および新潟大学大学院 准教授)

パネリスト: 倉見倫代氏 (石川県能登町立小木小学校 校長)、安田昌則氏 (大牟田市教育委員会 前教育長、日本ユネスコ協会連盟 理事)、大津山光子氏 (認定特定非営利活動法人 SEEDS Asia 事務局長)、吉岡優来氏 (奈良教育大学4回生)

3 ダブルセッション『未来の災害に備える地域ぐるみのN助型防災・減災教育の取組』

小竹篤氏 (三重県鳥羽市長) ※予定※ × 及川幸彦氏 (奈良教育大学 学長補佐、ESD・SDGsセンター長)

〇お問い合わせ

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟 教育支援部 減災教育係
電話: 03-5424-1121 メール: gensai@unesco.or.jp

第12回

アカサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

減災教育フォーラム

～減災教育を地域に広げ、未来につなげる～

災害の経験や教訓を踏まえた有識者による講演をはじめ、学校・行政・NPO・ユースなど多様な立場によるパネルディスカッション、全国の学校等による実践報告を通して、学校・地域・企業がネットワークでつながり、持続可能な社会を創るための実践的な防災・減災について、多角的に考えるフォーラムです。

学校の先生だけでなく、防災・減災に関心のある教育関係者、企業・団体、学生、一般の方など、どなたでもご参加いただけます。

近年、自然災害は多発し、その形も多様化しています。災害を「自分事」としてとらえ、共に防災・減災について考えてみませんか。

減災教育フォーラム・プログラム

※プログラム内容は変更になる場合がございます

9:00	開会式	
9:20	プログラム1	事例発表「全国の減災の学びを自分たちの学校や地域にいかす」 ◆事例発表校 ①長田 真希子 氏 (北海道豊浦町立豊浦小学校 教諭 2024年度助成校) ②坂井 球雄 氏 (新潟県新潟市立内野中学校 教諭 2022年度助成校、24年度再助成校) ③江島 智和 氏 (熊本県立熊本農業高等学校 教諭 2024年度助成校)
10:35	プログラム2	パネルディスカッション 「減災教育を地域に広げ、未来につなげる～災害の教訓を減災教育の継続と発展にいかして～」 ◆モデレーター: 上田 和孝 氏 (新潟大学および新潟大学大学院 准教授) ◆パネリスト: ①倉見 倫代 氏 (石川県能登町立小木小学校 校長) ②安田 昌則 氏 (大牟田市教育委員会 前教育長、日本ユネスコ協会連盟 理事) ③大津山 光子 氏 (認定特定非営利活動法人 SEEDS Asia 事務局長) ④吉岡 優来 氏 (奈良教育大学4回生)
12:30	プログラム3	ダブルセッション:『未来の災害に備える地域ぐるみのN助型防災・減災教育の取組』 1. 実践報告 小竹 篤 氏 (三重県鳥羽市長) ※予定※ 2. トークセッション 小竹 篤 氏 (三重県鳥羽市長) ※予定※ 及川 幸彦 氏 (奈良教育大学 学長補佐、ESD・SDGsセンター長)
13:15	総括	全体総括 及川 幸彦 氏 (アカサ ユネスコ協会 減災教育プログラム コーディネーター)
13:30	閉会式	13:35 終了予定

申込フォーム

<https://forms.office.com/r/UgSLbdCZf8>



【お問い合わせ】

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟 教育支援部 減災教育係
電話: 03-5424-1121

メール: gensai@unesco.or.jp

申込締切:

2026年2月4日 (水)

06 加茂小中避難所運営訓練

1. 概要

○11月22日(土)から延期となっていた加茂中学校での避難所運営訓練が2月9日(月)に実施されます。当初計画よりも規模を縮小しての実施となりますが、令和4年度から継続して実施している訓練であり、今年度で閉校となる同中学校での最後の避難所運営訓練となります。

2. 日時

○令和8年2月9日(月)13:30～15:50

3. 場所

○市立加茂中学校

4. その他

- 13:30～14:10 避難所運営
- 14:25～14:45 加茂中生徒による防災減災学習取組発表
- 14:50～15:50 川口淳教授(三重大学大学院工学研究科)による講評講話



加茂小中避難所運営訓練について

師走の候、加茂地区にお住まいのみなさまにおかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は加茂小・中学校の活動に御理解・御協力をいただきありがとうございます。

さて、11月に予定しておりました「加茂小中校区避難所運営訓練」ですが、インフルエンザ等感染症拡大のため、残念ながら延期をさせていただきました。しかしながら、小中学生が携わる「避難所運営訓練」は、これまで加茂地区が3年間積み上げてきた大事な行事であり、子どもたちにとって大変有益なものであることから、改めて3学期に実施させていただくこととしました。

つきましては、下記のように実施しますので、ご都合のつく方はぜひご参加ください。

記

- 1 目的 ○児童・生徒が救護活動や災害時を想定したさまざまな体験をすることで、被災時における実践的な行動力を養う。
○児童・生徒が自ら地域の力となることで、自己有用感や自己肯定感を感じられるようにする。
- 2 日時 2月9日(月) 13:30～15:50
- 3 運営者 加茂中生徒、加茂小6年生、小中学校職員、鳥羽市役所防災危機管理担当職員
- 4 日程 13:30～14:10 避難所運営
14:25～14:45 加茂中生徒による防災減災学習取組発表
14:50～15:50 川口教授による講評・講話
- 5 参加申し込みについて
運営訓練にご参加いただける方は、1月30日(金) 21:00までに下のQRコードからお申込みいただくか、加茂中学校まで電話でお知らせください。
加茂中学校 ☎ 0599-25-2904

参加いただいた方には防災グッズも準備しております。
多数のご参加お待ちしております！



07 避難所開設運営に関する協定書の締結 ～長岡地区の町内会・自治会との協定締結～

1. 概要

○市では、令和7年5月20日に「鳥羽市自治会連合会と鳥羽市との災害時における連携基本協定」を締結しました。連携基本協定をより具体的に進める取り組みとして、長岡地区の各町内会・自治会と「避難所開設運営に関する協定書」を締結します。この協定の締結により、災害時における避難所の開設運営が円滑に実施されることが期待できます。各町内会・自治会との避難所開設運営に関する協力協定の締結は、本市初の取り組みとなり、引き続き、このような取り組みを進めていきます。

2. 日時

○令和8年2月19日(木)15:00～

3. 場所

○鳥羽市役所本庁舎2階 市長室

4. その他

○相差町内会、畔蛸自治会、千賀町内会、堅子町内会、国崎町内会の5町内会・自治会(予定を含む)





A large white rectangular area with a light brown border, containing six horizontal dotted lines for writing.



地域への愛着を基盤とした 学校・地域安全モデル事業 防災リレー講座

1. 概要

〇市では、特定非営利活動法人SEEDS Asiaと「地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業 防災リレー講座」を開催します。第7回は、「災害時の子どもの居場所づくりはなぜ必要か」と題した講演会です。本講座は、令和7年3月26日に特定非営利活動法人SEEDS Asiaと締結した「鳥羽市の地域と学校の連携による安全の推進に関する協定書」に基づくものであり、全12回開催を予定しており、今回は7回目になります。

2. 日時

〇令和8年2月3日(火)15:00~16:45

3. 場所

〇鳥羽商工会議所3階 かもめホール

4. 講師

〇講師：小野 道子 氏(東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科 准教授)

地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業
防災リレー講座

第7回
災害時の子どもの居場所づくりは
なぜ必要か

講師：^{おの}小野 ^{みちこ}道子 先生
東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科 准教授

令和8年 2月3日 (火)
15:00~16:45

場所：鳥羽商工会議所3階

地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業
防災リレー講座

第7回
災害時の子どもの居場所づくりは
なぜ必要か

おの みつこ
講師：小野 道子 先生
東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科 准教授

令和8年 2月3日 (火)
15:00~16:45

場所：鳥羽商工会議所 3階
かもめホール (オンライン参加も可)

<https://forms.gle/j7kg5Zn8oW3rjpaQ8>



二次元コードからPC、スマホでもお申し込みいただけます

申し込みは裏面の連絡先、あるいは
左の二次元コードからお申し込みください



講師プロフィール

2004年から2010年までUNICEF職員として子どもの保護事業に携わる。
2011年から2016年まで日本ユニセフ協会東日本大震災緊急支援事業
子どもの保護アドバイザーとしての経験からNPO法人災害時こどものこころと
居場所サポートを設立、現在、代表理事。災害時および平時の子どもの居
場所づくりの研修などを主導、こども家庭庁「災害時におけるこどもの居場所
づくり」調査研究事業と手引き(※)の作成に携わる。
※子ども家庭庁 災害時の子どもの居場所づくりガイドライン概要ページ
<https://www.cda.go.jp/polides/ibasho/saigajji>



【主催】認定NPO法人 SEEDS Asia
【共催】鳥羽市 鳥羽市教育委員会



■開催趣旨

近年、自然災害の激甚化・頻発化に加え、子どもたちを取り巻く事件や事故も多発しています。こうした多様なリスクの中で、子どもの安全・安心を守り、そして「ここで暮らし続けたい」という想いをどう育むか—それは、地域の未来をどう築いていくかという問いでもあります。

第7回では、災害時に子どもが直面する課題に焦点を当て、発災直後から中長期にかけた子どもの居場所づくりについて考えます。令和7年に子ども家庭庁より発行された「災害時の子どもの居場所づくりの手引き」の概要を踏まえ、被災後に求められる子どもへの対応・支援において欠かせないポイントを整理するとともに、平常時から学校・地域・行政はどのような連携が可能かについて、参加者の皆さんと一緒に考える機会とします。

■プログラム (予定)

第7回：令和8年2月3日 (火) 15:00~16:45 (質疑応答含む)

14:30 開場 (オンラインは14:50開場)
15:00 開始・趣旨説明
15:05 専門家によるご講義
16:05 小休憩
16:10 会場からの質疑応答・次回のリレー講座案内など
16:45 閉会

■場所：鳥羽商工会議所 3階 かもめホール+オンライン(ZOOM)
■参加費：無料

■連絡先・申し込み方法 2月1日 (日) 〆切

※スマホ・タブレット端末をお持ちの方は、二次元コードから参加申し込みをお願いします
右の二次元コードから (どなたでも)

※二次元コード以外の参加申し込みの場合は、お電話・メールで受け付けます

<電話の場合>

鳥羽市教育委員会 学校教育課

☎1 2 6 5 (電話でお申し込み希望の学校関係者のみ)

鳥羽市 総務課 防災危機管理室

☎1 1 1 8 (電話でお申し込み希望の市民の方)

<メールの場合>

SEEDS Asia鳥羽プロジェクトオフィス

Eメール：mitsuko.otsuyama@seedsasia.orgまで



二次元コードからタブレット端末・
スマホでお申し込みいただけます

本講座は、鳥羽市と認定NPO法人SEEDS Asiaが締結した「地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業」に基づく共同事業の一環として実施し、一般財団法人日本民間公益活動連携機構およびジャパン・プラットフォームによる支援を受けています。



【主催】認定NPO法人 SEEDS Asia
【共催】鳥羽市 鳥羽市教育委員会



09 令和7年度 第2回「鳥羽が好きふるさと給食」

1. 概要

○「鳥羽が好きふるさと給食」とは、2学期、3学期の年2回、地元でとれる新鮮な旬の食材を給食のメニューに取り入れ、食を通して「自然豊かな鳥羽」を再認識する事業です。また、食育を通して生産者の思いを学ぶ取り組みであり、鳥羽を愛する心(郷土愛)を育むことを目的としています。今回の鳥羽の食材は、伊勢海老、ハンサムグリーンレタスです。当日は、ゲストティーチャーをお招きし、食育の授業を行う予定です。

2. 日時

○令和8年2月18日(水) ※離島校は令和8年2月25日(水)に実施します。
4限目：11時30分～12時15分 食育授業(5年生)
給食：12時15分～12時55分 ふるさと給食

3. 場所(2/18実施)

○中央共同調理場管轄(鳥羽小学校・安楽島小学校・加茂小学校・弘道小学校鳥羽東中学校・加茂中学校・かもめ幼稚園)
○取材対応：安楽島小学校
※取材を行う際には、学校教育課へ取材人数等、連絡をお願いします。

4. その他

○授業内容：鳥羽の海について(伊勢海老) 食育:大山 有美 栄養教諭 ゲストティーチャー:調整中
○給食献立：てりやきチキンドッグ(コッペパン、てりやきチキン、ハンサムグリーンレタス)、牛乳、伊勢海老のクリームスープ



10 全国海女サミット2026の開催

1. 概要

○今年度の全国海女サミットは、下記のとおり、開催いたします。近年、海女を取り巻く環境は、藻場や水産資源の減少、後継者不足などにより厳しい状況が続いている一方、昨年黒潮大蛇行の終息など、明るい兆しも見られます。本サミットでは、全国各地の海女が当地域に集まり、海女漁の現状や課題について意見交換を行うとともに、情報共有と連携を図ることを目的とします。なお、今回で全国海女サミットは15回目の開催となります。

2. 日時

○令和8年2月24日(火)
13時30分～17時頃まで

3. 場所

○鳥羽シーサイドホテル（8階黒潮）

4. その他

- ①講演:「海女を取り巻く状況について」講師:松田 浩一 氏 (三重大学大学院生物資源学研究科 教授)
- ②情報提供:「海女さんが健康で操業するために」～フレイルって知っていますか?～
- ③グループトーク:「海女さん大いに語る」



11 第2回 伊勢志摩にある海洋・水産機関による研究成果発表会の開催

1. 概要

- 伊勢志摩にある海洋・水産機関が、海に関する研究成果を一般の方向けに分かりやすく紹介する発表会が開催します。学生の方から大人の方まで幅広くお楽しみいただける内容となっています。
- 伊勢志摩海洋教育研究アライアンスとは、三重大学が中心となり、教育・研究を通じた地域水産業の発展をさらに推進していくための“地域連携プラットフォーム”の構築を目的として、伊勢志摩地域に立地する水産海洋系教育研究機関が連携し、令和4年10月1日に設立しました。

2. 日時

- 令和8年2月14日(土)13時30分～16時00分

3. 場所

- 鳥羽商工会議所「かもめホール」

4. その他

- 参加機関:
三重大学大学院生物資源学研究科、鳥羽市、鳥羽商船高等専門学校、鳥羽水族館、三重県水産研究所、水産研究・教育機構 水産技術研究所、名古屋大学大学院理学研究科附属臨海実験所、ミキモトグループ(株式会社ミキモト、株式会社御木本真珠島、御木本製薬株式会社)

伊勢志摩にある海洋・水産機関による
研究成果発表会
第2回「伊勢志摩海洋教育研究アライアンス」研究等共同発表会

今年も伊勢志摩の海に関する研究を集めました

日時 2026.2.14.sat 13:30-16:00
会場 鳥羽商工会議所「かもめホール」

参加費無料
【要事前申込み】

伊勢志摩にある海洋・水産機関による

研究成果発表会

第2回「伊勢志摩海洋教育研究アライアンス」研究等共同発表会

今年も伊勢志摩の海に関する研究を集めました

日時 2026.2.14.sat 13:30-16:00

会場 鳥羽商工会議所「かもめホール」

参加費無料

【要事前申込み】

プログラム

- 「鳥羽海域の藻場モニタリング」/鳥羽市水産研究所
- 「持続的な真珠養殖。今季も出来たよ!!おいしいワイン!!コンポストを利用したワイン作りへの挑戦」/ミキモトグループ
- 「鳥羽水族館が確認した熊野灘漸深海帯の生物」/鳥羽水族館
- 「志摩市沿岸における藻場の減少と対策」/三重県水産研究所
- 「みんなで調べよう! 菅島の生物多様性」/名古屋大学菅島臨海実験所
- 「しらせーる —持続可能で環境配慮型のシラス漁支援システム—」/鳥羽商船高等専門学校
- 「大型藻類を活用したブルーカーボンの可能性と課題」/三重大学水産実験所
- 「鳥羽市小浜町のタコ壺漁の壺に生息する魚類」/三重大学水産実験所

伊勢志摩地域にある海洋・水産関係の教育研究機関では、「伊勢志摩海洋教育研究アライアンス」を組織し、連携して活動しています。

【参加機関】鳥羽商船高等専門学校、名古屋大学菅島臨海実験所、三重大学大学院生物資源学研究所、水産研究・教育機構水産技術研究所、三重県水産研究所、鳥羽市(海の博物館、水産研究所)、ミキモトグループ(ミキモト、ミキモト真珠島、御木本製菓)、鳥羽水族館

申込み方法 以下のいずれかの方法でお申込みください。

- ① QRコード
- ② FAX(0599-37-7311)



FAX の場合は件名を「研究成果発表会」とし、名前(フリガナ)、所属(会社名、学校名など)、連絡先(e-mail アドレス、電話番号)を明記してください。FAX では裏面用紙をご利用ください。定員に達した場合は先着順で締め切りとさせていただきます。

主催:伊勢志摩海洋教育研究アライアンス

問い合わせ先:三重大学 水産実験所(鳥羽市小浜町 641-9)

E-Mail:frlmstaff@bio.mie-u.ac.jp TEL:0599-37-7310 FAX:0599-37-7311

下記申込書に必要事項をご記入いただき、
三重大学水産実験所宛 (FAX:0599-37-7311)にお申し込みください。



バスで 鳥羽駅(鳥羽バスセンター)より「かもめバス(鳥羽~国崎)」にて「市民の森」下車

電車で 近鉄志摩赤崎駅より徒歩15分

※2名以上参加される場合は、用紙をコピーしてお申し込みください。

第2回「伊勢志摩海洋教育研究アライアンス」研究等共同発表会 参加申込フォーム【2月14日(土)開催】

フリガナ _____ ご所属 _____
お名前 _____ (会社名、学校名など)

メールアドレス _____

電話番号 _____

個人情報の取り扱いについて
本申込フォームに記載された個人情報は、本会への参加登録、出欠確認、参加者様のご意見・ご要望に対応するための連絡、アンケートの送付、三重大学が主催するイベント等の紹介以外には使用しません。ご本人の同意がなければ、第三者に個人情報を提供することもしません。取得した個人情報は管理責任者を定め、紛失や漏洩などが発生しないよう積極的な安全対策を実施いたします。

12 鳥羽市営定期船の減船によるダイヤ改正

1. 概要

○鳥羽市営定期船は1隻あたり船長、機関長、甲板員の3名体制で、全5隻(予備船1隻)での離島運航をしておりますが、近年、全国的な課題となっております船員不足の影響により、鳥羽市営定期船についても5隻体制を維持することが困難な状況となりました。

2. 実施日

○令和8年4月1日(水)より4隻体制のダイヤにて運航

3. 対象航路

○鳥羽市営定期船 全航路

4. 内容

○【各航路の主な変更】(別添2:改正ダイヤ)



【各航路の主な変更】（別添2：改正ダイヤ） ←

○鳥羽～答志航路←

- ・答志発佐田浜行のダイヤが9便から8便に変更←
- ・佐田浜発答志行の最終便が答志港へは行かずに和具港止めに変更←

○鳥羽～桃取航路←

- ・桃取発佐田浜行のダイヤが10便から9便に変更←
- ・佐田浜発桃取行のダイヤが10便から9便に変更←
- ・佐田浜発桃取行の最終便が20：10から19：50に20分早める←

←

○鳥羽～坂手航路←

- ・坂手発佐田浜行のダイヤが11便から10便に変更←
- ・佐田浜発坂手行のダイヤが11便から8便に変更←
- ・チャーター船業者にダイヤ委託して合計3便を運航する←
- ・佐田浜発坂手行の最終便が20：10から19：30に40分早める←

←

○鳥羽～菅島航路←

- ・菅島発佐田浜行の7：15を小中学校へ通学する児童・生徒のために増便←
- ・佐田浜発菅島行の最終便が20：10から19：30に40分早める←

←

○鳥羽～神島航路←

- ・神島発佐田浜行の17：35（冬ダイヤ）・18：05（夏ダイヤ）を増便←

←



A large white rectangular area with a light brown border, containing six horizontal dotted lines for writing.

